

おきたま社会教育情報

Vol. 181 令和7年12月号

自作視聴覚教材コンクール・審査会・表彰式・作品鑑賞会

12月6日(土)、長井市役所市民防災研修室において令和7年度置賜地区自作視聴覚教材コンクールの表彰式・作品鑑賞会を開催しました。

今年度は、学校教育部門2作品、社会教育部門7作品の合計9作品の素晴らしい作品を出品いただきました。表彰式後には、今回のコンクールで特選に選ばれた「鷹山公の愛した赤湯温泉」「ゆうきのおこめのはなし」を上映し鑑賞会を行いました。

今年度は全体の応募作品数は9作品と多かったのですが、児童・生徒作品部門の出品がありませんでした。これまで県や全国の自作視聴覚教材コンクールで素晴らしい成績を収めてきた置賜の誇りを絶やすことなく、次年度以降もたくさんの作品を応募していただけるよう、情報提供に力を入れていきたいと思っています。

令和7年度の受賞作品は以下の通りです。



受賞おめでとうございます!!

部門	賞	作品名	製作者
学校教育部門	特選	ゆうきのおこめのはなし	高畠町農林課(高畠町)
学校教育部門	入選	君たちはどう生きるか ～ふるさと教育者 田島賢亮の生き方を通して～	南陽8ミリクラブ 会長 曾根原 力氏(南陽市)
社会教育部門	特選	鷹山公の愛した赤湯温泉	加藤 正人氏(南陽市)
社会教育部門	入選	隼のおばあちゃん	最上川229ネットワーク(白鷹町)
社会教育部門	入選	種まき桜と紅花平物語	文…新野 久子氏 絵…斉藤 天音氏(白鷹町)
社会教育部門	入選	夢への石段	飯豊町教育委員会 社会教育課(飯豊町)
社会教育部門	奨励賞	1部 まほうのことは『エイッ』!! 2部 SDGsについて考える	梅津 典子氏(高畠町)
社会教育部門	奨励賞	卯の花姫物語	平吹 登氏(長井市)
社会教育部門	奨励賞	山形の民話 かにのこうら	宮内紙芝居・かるたの会 石黒 晴美氏(南陽市)

川西町部活動改革地域展開 説明会

川西町民に対しての説明会が11月21日(金)に行われました。川西町ではこれまで指導者や保護者に対して説明会を開催してきました。また、これまでの実証期間では、中学校にある部活動だけにとらわれず、地域団体への声かけを行い、子どもたちが幅広い活動に触れることができるようにしてきました。今年度はスポーツ13団体と文化4団体から実証事業に参加いただき、「地域クラブの日」を8回、「スポーツに親しむ日」を4回実施したようです。

そして置賜3市5町では、令和8年度から始まる実行期間に向けて検討委員会や研修会、説明会を開催し準備を進めてきました。部活動改革は「答えがない大きな挑戦」です。様々な立場の、たくさんの大人の力が必要となります。置賜地区が一つとなり、地域で「子どもたちの未来」を育てていけるように、今後とも情報を共有しながら改革を進めていけるようにしていきたいと思っています。

南陽東置賜 AC 川西町指導者	青葉剣道スポーツ少年団
小松野球スポーツ少年団	川西バレーボール協会
川西町ソフトボール少年団	川西中ソフトテニスクラブ
川西町ホッケー協会	川西町パークゴルフ協会
川西町バスケットボール協会	川西町短歌会
スポーツかわにし	アニバーサリーバンド
川西卓友会	川西の歌と踊りを楽しむ会
FC FORTIS	正統藤柳流 日本舞踊藤柳会
川西柔道スポーツ少年団	

子どもを支える支援の在り方

12月5日（金）に第2回家庭教育支援フォーラムをオンラインで開催しました。講師は、和歌山大学教育学部教授の米澤 好史（よねざわ よしふみ）氏です。愛着障害は年々増加傾向にあります。「愛着形成は親しか結ぶことができないものではなく、親以外とのより良い関係性の構築が親子関係の改善にもつながる。」「愛着形成のためには、安心基地・安全基地・探索基地の3つの基地機能が適切に働くことが重要である。」などのお話をいただきました。参加した方からは「愛着障害についてとても深く理解することができました。家庭の中で3つの基地を意識して子どもに接していきたいと思います。」「発達障害と愛着障害では、表に出ている行動が似ているようでも、支援の仕方が違うことがわかりました。今まで、対応に行き詰まり感があったのですが、これからはアプローチを少し変えてみようと思いました。」などの感想が寄せられ、満足度の高い研修会となりました。



不安定な愛着を抱える子どもは、自分の感情や行動をコントロールすることが苦手なため、まずは大人が物理的・精神的な安全や安心を提供することが大切です。今回の講演では、支援の方法について具体的な場面も取り上げていただきました。子どもが示す問題行動（試し行為、激しい反抗など）の裏にある満たされなかった愛着ニーズを理解した上で支援する重要性を確認できたことと思います。米澤先生から教えていただいたことを普段の子どもとの関わりの中で実践してみてください。

「地域と学校をつなぐ」スキルアップ交流会開催！

11月27日（木）、宮内地区交流センターを会場に標記研修会を行いました。南陽市立赤湯小学校地域学校協働活動推進員の佐藤しず氏、山形市教育委員会社会教育青少年課指導主事・社会教育主事の小林星太氏より事例発表いただきました。佐藤氏からは赤湯小学校で令和4年度から行っている「見守りサポーター」について、小林氏からは山形市立高楯中学校・高楯地区の地域学校協働活動の事例について紹介いただいたところで

す。後半は小学校、中学校、放課後子ども教室、行政担当者の4つのグループに分かれて情報交換を行いました。フリーテーマで実施しましたが、最後まで話題が尽きることなく熱心に話し合う様子が見られました。

参加者からは、「子どもに楽しんでもらう事業をしなければと思っていましたが、子どもとの活動を通して大人側が活かしてもらっていることに気づかされました。それが協働ということだと思いました。」や「地域や学校での困りごと、あったらいいなというポイントを読み取り、すくい上げようという姿勢を見習いたいと思いました。」などの感想が寄せられました。

アンケートを集計したところ、参加者の満足度は90%を超えており、参加いただいた方にとってとても満足度の高い研修会となったようです。まだ参加したことのない推進員、コーディネーターの皆さん、来年度はぜひご参加ください。お待ちしております。



→県 HP 上で本紙のデジタル版・バック
ナンバーがご覧いただけます。



→社会教育課 Instagram も要チェック！
【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課
TEL:0238(88)8241】